



## 平成29年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略推進にかかる施策方針

まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進を目的として、平成29年5月に策定した施策方針の取組結果について、次のとおり報告します。

平成30年3月

政策経営部長 中嶋 誠一

### 1 総括

- 1 「広報さばえ」は、紙面構成の工夫やフォントの変更など市民が読みやすく、読んでもらえる紙面を心がける一方で、情報の整理を図り紙面のスリム化にも努め、市民目線の親しみやすい広報紙として発行しました。また、ホームページやSNSなどを活用して積極的な各種情報の発信に努めました。
- 2 めがねのまちさばえ応援隊や鯖江ブランド大使を任命し、市民のふるさと愛の醸成を図りました。また、シティプロモーションに関する取組みはメディアに取り上げられる機会も多く、「めがねのまちさばえ」の地域ブランド向上に繋がりました。
- 3 総合戦略を着実に推進するため、鯖江市総合戦略推進会議において成果指標の達成状況を検証したほか、行政評価を実施し、全庁体制で各事業に取り組みました。
- 4 指定管理者への外部評価にあたり、評価委員会の委員構成と評価方法を見直すことにより、より客観性を高めた評価を実施するとともに、施設所管課による内部評価を実施することにより、指定管理者へのモニタリングの強化を図りました。
- 5 U I ターン者の定住や移住促進に向けて、住みよさや子育て環境の良さ、ものづくり産業の魅力等を、都市圏や県内のイベントにて積極的にPRを行いました。移住定住相談が円滑に行えるよう、庁内の関係各課と情報共有を図りました。
- 6 持続可能な開発目標SDGs達成のため、研究チームを立ち上げ、既存事業の現状調査や推進事業・推進体制の検討を行いました。また、市民団体と協働で「キックオフミーティング」を開催し、市民へのSDGsの取組みの周知と理解を図りました。
- 7 ふるさと納税を通して積極的に市や産業等のPRを行い、目標を上回るふるさと納税寄附をいただきました。また、クラウドファンディング事業を通して市民に資金調達場の提供し、夢の実現を応援しました。
- 8 財政健全化指標の適正水準を維持し、子や孫の将来世代に負担を残さない健全な財政運営に努めました。
- 9 資金調達の多様化と市民の行政への参加意識の向上を目的に、「元気さばえっ子・ゆめみらい債」を3億円発行しました。

- 10 鯖江市公共施設等総合管理計画に基づく建物施設およびインフラ施設の個別計画策定のスケジュールを取りまとめるとともに、財政的な面も踏まえた個別計画策定の市の基本的なマネジメント方針を策定し、計画の全庁的な推進に努めました。
- 11 市民の誰もがICT（情報通信技術）に親しめるよう、タブレット端末やアプリケーションに親しむ「ITに親しむ講座」を開講しました。また、今年度で7回目となる“IT推進フォーラム”は、より一層、幅広い市民の方にITをより身近なものとして感じ取っていただくため、今年は、体験型のフェスティバルとして開催し、多くの方に参加いただきました。
- 12 工業統計調査・就業構造基本調査を実施したほか、各種統計データを公式ホームページで公開しました。また、調査員を継続して募集し確保に努めるとともに、調査員研修を行い調査能力の向上を図り、統計調査の体制強化を行いました。
- 13 市民の市税の仕組みに対する理解を深めるため、税制度をわかりやすく、積極的に広報するとともに、公平負担の原則のもと適正な課税に努めました。
- 14 コンビニ納付、ペイジー口座受付、Web口座振替受付やクレジットカード収納（軽自動車税、水道料金）に加え、さらに納税者の利便性の向上を図るため、スマートフォンを使った収納の平成30年度からの導入に向けた準備を行いました。また、週1回の夜間納税相談を実施するなど、納税者の立場に立った納税体制の充実に努めるとともに、市税の収納については、滞納整理の強化に努めました。

## 2 課題・今後の方向性

- 1 都市間競争に勝ち残るため、鯖江のまちの「顔」である「眼鏡」を前面に打ち出し、「もの」「こと」「ひと」のまちの魅力を国内外に積極的に発信し続けることで、「鯖江力」を感じてもらえるよう、経済界や市民団体と連携し、地域全体でシティプロモーション活動を推進する必要があります。
- 2 持続可能な地域社会を目指し、市民や企業、各種団体等との協働で推進していくため、全庁あげての体制づくりを図り、SDGsの理念について、啓発活動や研修会を積極的に実施することで理解を深め、市全体で取り組んでいくことが必要です。
- 3 将来にわたって厳しい財政状況が続く中においては、行政評価における事業の事後チェックや予算査定等を通じて、事業の見直しや廃止・統合、無駄な経費の削減などに取り組む一方で、ふるさと納税やクラウドファンディングなどによる自主財源の確保に努めるなど、持続的な財政運営を確立するため全庁体制で不断の努力を続ける必要があります。
- 4 「公共施設等総合管理計画」で掲げた推進体制に基づき、計画の進捗管理や見直し、施設毎の個別更新計画の作成に向けて、引き続き全庁体制で施設のマネジメント強化に取り組む必要があります。
- 5 より多くの市民の方がITの恩恵を受けられるよう、また「ITのまち鯖江」を感じていただけよう、より一層の情報発信や環境の整備を実施し、さらに新たなICT技術を活用したサービスの導入についても検討していく必要があります。
- 6 市民の市税への理解を深めていただくとともに、市民税未申告者および償却資産新規取得者への申告勧奨を通して公平かつ適正な課税を行います。
- 7 市税等の滞納額を縮小し、収納率を向上させるために、早期の未納から滞納整理に取り組むことにより、現年分収納率の向上や新たな滞納の発生防止に努めていく必要があります。

### 3 重点的に進める項目の取組結果

<取組項目>	<取組結果>
<p><b>1. 市が保有する情報や資料の共有化</b></p> <p>市民が鯖江市に愛着と誇りを持てるよう、地域や学校の取組みや鯖江ならではの魅力あふれるまちづくりの情報発信に努めます。また、市からの情報をケーブルテレビやFM放送などのメディア、ホームページやSNSなどを活用し、迅速にそしてよりわかりやすくお知らせすることにより、市民との情報の共有化や一体感の醸成を図ります。</p> <p>◆ 市政情報の視聴率等の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報さばえ 90%</li> <li>・ ケーブルテレビ 45%</li> <li>・ FM放送 30%</li> <li>・ 市公式ホームページのトップページアクセス数 80万回</li> <li>◆ ホームページ広報力研修受講者数 50人</li> <li>◆ 行政出前講座の開催 650回</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>「広報さばえ」については、フォントの変更や紙面構成の見直しなどを行い、市民の読みやすい紙面づくりに努めました。ケーブルテレビやFM放送については市民への身近な情報提供に努め、さらに質の高い情報発信を行うため、広報力研修を実施するなど情報発信力の強化に取組みました。</p> <p>◆ 市政情報の視聴率等の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報さばえ 86% [A]</li> <li>・ ケーブルテレビ 35% [C]</li> <li>・ FM放送 16% [C]</li> <li>・ 市公式ホームページのトップページアクセス数 100万回 [A]</li> <li>◆ ホームページ広報力研修受講者数 40人 [B]</li> <li>◆ 行政出前講座の開催 784回 [A]</li> </ul>
<p><b>2. シティプロモーションの推進</b></p> <p>「めがねのまちさばえ-世界飛翔元年-」にあたり、マスメディアや多言語対応の新ホームページ、めがねのまちさばえ応援隊の協力によるSNSの活用など、多様な広報媒体と連携したブランド戦略に取り組むことで、「めがねのまちさばえ」の世界発信に努めます。</p> <p>◆ 「めがねのまちさばえ」の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国発信できる事業の実施 5事業</li> <li>・ めがねのまちさばえ応援隊登録数 1,500人</li> <li>・ 広報さばえでの市民理解の向上 12回</li> <li>◆ 鯖江ブランドの推進</li> <li>・ ブランド特任大使任命 5人</li> <li>◆ シティプロモーション推進チームの設置</li> <li>・ チームの立ち上げ 5月</li> <li>・ チーム会議の開催数 5回</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>「めがねのまちさばえ」のシティプロモーションに今年度から本格的に取組み、応援隊登録数は目標の3倍を超える方々に登録をしていただきました。また、メディアでの発信も全国ネットでの番組に取り上げられることが多く、ブランド力強化に繋がる成果を上げることが出来ました。年度末には、ガイドラインも作成し、新年度に向けたALL鯖江での取組みの第一歩となるスタートが切れました。</p> <p>◆ 「めがねのまちさばえ」の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国発信できる事業の実施 6事業 [A]</li> <li>・ めがねのまちさばえ応援隊登録数 5,151人 [A]</li> <li>・ 広報さばえでの市民理解の向上 12回 [A]</li> <li>◆ 鯖江ブランドの推進</li> <li>・ ブランド特任大使任命 17人 [A]</li> <li>◆ シティプロモーション推進チームの設置</li> <li>・ チームの立ち上げ 5月 [A]</li> <li>・ チーム会議の開催数 5回 [A]</li> </ul>
<p><b>3. 総合戦略の着実な推進と検証の実施</b></p> <p>総合戦略の着実な推進に向けて、部ごとに年度取組み目標を定めた施策方針を策定し、職員総力を挙げて各施策に積極的に取り組みます。また、第5次総合計画の総括評価のための政策評価を実施するほか、行政評価結果を基に次年度の予算編成に生かします。さらに「鯖江市総合戦略推進会議」において、KPI（成果指標）の達成状況を検証するとともに、必要に応じて総合戦略の充実・見直しを行います。</p> <p>◆ 各部施策方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部施策方針を策定し、HPで公表 5月</li> <li>・ 各部施策方針の総括 3月</li> <li>◆ 行政評価</li> <li>・ 各課で継続事業の事務事業を評価（第1次評価） 6月</li> <li>・ 継続事業の方向性を決定 11月</li> <li>・ 政策評価 9月</li> <li>・ 成果指標の進捗状況を総括 3月</li> <li>◆ KPI（成果指標）の達成状況の把握 8月</li> <li>◆ 鯖江市総合戦略推進会議の開催 1回</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>総合戦略の着実な推進に向けて、部ごとに年度取組み目標を定めた施策方針を策定し、職員総力を挙げて各施策に積極的に取り組みました。また、第5次総合計画の総括評価のための政策評価を行ったほか、次年度の予算編成に向けての事務事業評価を実施し、総合戦略の各施策の着実な推進につなげました。さらに、「鯖江市総合戦略推進会議」においてKPI（成果指標）の達成状況を検証しました。</p> <p>◆ 各部施策方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部施策方針を策定し、HPで公表 5月 [A]</li> <li>・ 各部施策方針の総括 3月 [A]</li> <li>◆ 行政評価</li> <li>・ 各課で継続事業の事務事業を評価（第1次評価） 7月 [B]</li> <li>・ 継続事業の方向性を決定 11月 [A]</li> <li>・ 政策評価 11月 [B]</li> <li>・ 成果指標の進捗状況を総括 3月 [A]</li> <li>◆ KPI（成果指標）の達成状況の把握 9月 [B]</li> <li>◆ 鯖江市総合戦略推進会議の開催 1回 [A]</li> </ul>

<取組項目> □ □	<取組結果>
<p><b>4. 指定管理者への外部評価に対する公平性の向上と内部評価の実施</b></p> <p>指定管理者の管理運営状況に関する評価の公平性をより高めるため、第三者評価委員会の設置は類似施設ごととし、その委員会の委員は専門性・客観性の高いメンバーとします。また、モニタリングの強化を図るため、施設所管課による内部評価を実施します。</p> <p>◆ 指定管理者制度推進に関する基本方針 4月  ◆ 外部評価  ・ 指定管理者第三者評価委員会の設置 6月  ・ 外部評価の実施 9月  ◆ 内部評価の実施 8月</p>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>指定管理施設を3つのパターンに類型化し、それぞれの類型施設ごとに第三者評価委員会を設置しました。その委員会の委員の構成は、市民や女性の代表者、学識経験者、経営者としました。また、モニタリングの強化を図るため、施設所管課による内部評価を実施しました。</p> <p>◆ 指定管理者制度推進に関する基本方針 4月[A]  ◆ 外部評価  ・ 指定管理者第三者評価委員会の設置 8月[B]  ・ 外部評価の実施 8~10月[B]  ◆ 内部評価の実施 7月[A]</p>
<p><b>5. 移住・定住の促進</b></p> <p>移住・定住に対する情報や暮らしのサポート、伝統的な地域産業の魅力を積極的にPR・対外発信することにより、移住人口・定住人口の増加を図ります。</p> <p>◆ イベントを利用した情報発信や相談会の開催 5回  ◆ 庁内担当者連絡会議の開催 4回</p>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>移住・定住に対する情報や暮らしのサポート、伝統的な地域産業の魅力を県内のイベントや東京・大阪で開催された移住フェアで積極的にPRしました。庁内の関係各課との情報共有を図り、施策の推進について検討しました。</p> <p>◆ イベントを利用した情報発信や相談会の開催 5回[A]  ◆ 庁内担当者連絡会議の開催 4回[A]</p>
<p><b>6. 持続可能な地域モデルの研究</b></p> <p>経済界や市民、大学等との協働で、持続可能な地域コミュニティの実現に向けて、庁内に「持続可能な地域モデル“めがねのまちさばえ”研究チーム」を設置し、全国に横展開できる自治体モデルの確立を目指します。</p> <p>◆ チームの立ち上げ 5月  ◆ チーム会議の開催数 5回  ◆ キックオフミーティングの開催 10月</p>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>自治体モデルの確立に向けて、市の事業の現状分析や来年度の推進体制について、グループ会議や全体会議を開催し、研究・検討しました。12月には、さばえNPOサポートやエコネットさばえと共催で「キックオフミーティング」を開催。大学の先生による講演会やSDGsの理解を深めるためのカードゲームを実施しました。</p> <p>◆ チームの立ち上げ 5月[A]  ◆ チーム会議の開催数 13回[A]  ◆ キックオフミーティングの開催 12月[B]</p>
<p><b>7-1. ふるさと納税の推進</b></p> <p>一人でも多くの方から寄附していただき、市への応援の気持ちを地域活性化につなげるために、付与ポイントやお礼品の見直しを行います。また、クラウドファンディングの仕組みを利用したふるさと納税「F×G（エフバイジー）」も積極的に活用します。</p> <p>◆ 民間企業等との相互連携の締結 4月  ◆ ふるさと納税寄附額 1,000件 1.2億円  ◆ F×G活用事業数 6事業</p>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>株式会社福井銀行や福井信用金庫と協力し、お礼品の発掘やふるさと納税のPRを行いました。魅力ある地元産品の情報発信を行うため、お礼品の大幅な見直しとウェブサイトの充実を図ったほか、雪害復旧支援を「F×G（エフバイジー）」に掲載するなど、さまざまな機会を通してふるさと納税の確保と市のPRに努めました。</p> <p>◆ 民間企業等との相互連携の締結 4月[A]  ◆ ふるさと納税寄附額 3,400件 1.9億円[A]  ◆ F×G活用事業数 8事業[A]</p>
<p><b>7-2. クラウドファンディング「FAAVOさばえ」の運営および活用</b></p> <p>クラウドファンディング「FAAVOさばえ」を運営することにより、新技術・新商品開発や起業のための資金不足に悩む個人・団体・事業所等が資金調達を行う場を提供し、市の活性化に繋がります。</p> <p>◆ 広報紙等による周知 2回  ◆ 目標金額達成事業数 10事業</p>	<p><b>【成果等】 目標達成にはいたりませんでした。</b></p> <p>クラウドファンディング「FAAVOさばえ」を運営することにより、個人・団体・事業所等が資金調達を行う場を提供し、夢の実現を応援しました。</p> <p>◆ 広報紙等による周知 8回[A]  ◆ 目標金額達成事業数 7事業[C]</p>

<取組項目> □ □	<取組結果>
<p><b>8. 財政健全化指標の適正水準の維持</b></p> <p>財政健全化指標の適正水準を維持し、子や孫の将来世代に負担を残さない健全な財政運営に努めます。</p> <p>◆ 財政健全化指標の平成28年度決算における目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政調整基金の年度末残高 25億円以上</li> <li>・ 実質赤字比率 0%未満（黒字）</li> <li>・ 連結実質赤字比率 0%未満（黒字）</li> <li>・ 実質公債費比率 12.0%以下</li> <li>・ 将来負担比率 25.0%以下</li> <li>・ 市債残高（臨時財政対策債を除く） 153億円</li> </ul>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>財政健全化目標の適正水準を維持し、子や孫の将来世代に負担を残さない健全な財政運営に努めました。</p> <p>◆ 財政健全化指標の平成28年度決算における目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政調整基金の年度末残高 30億円[A]</li> <li>・ 実質赤字比率 0%未満（黒字）[A]</li> <li>・ 連結実質赤字比率 0%未満（黒字）[A]</li> <li>・ 実質公債費比率 10.1%[A]</li> <li>・ 将来負担比率 0%未満[A]</li> <li>・ 市債残高（臨時財政対策債を除く） 151億円[A]</li> </ul>
<p><b>9. 元気さばえっ子・ゆめみらい債の発行</b></p> <p>元気さばえっ子・ゆめみらい債を3億円発行し、市民の行政への参加意識を醸成するとともに、資金調達が多様化を図ります。</p> <p>◆ 広報紙等による周知 2回</p> <p>◆ 3億円の発行 12月発行 完売</p>	<p><b>【成果等】 目標を達成しました。</b></p> <p>元気さばえっ子・ゆめみらい債を12月に3億円発行し、市民の行政への参加意識を醸成するとともに資金調達が多様化を図りました。</p> <p>◆ 広報紙等による周知 2回[A]</p> <p>◆ 3億円の発行 12月発行 完売[A]</p>
<p><b>10. 鯖江市公共施設等総合管理計画の着実な推進</b></p> <p>鯖江市公共施設等総合管理計画に基づき、本計画推進に向けて、インフラ施設・建物施設について施設所管課が今後作成する個別更新計画への支援や情報共有を図り、市全体の施設マネジメント強化に向け財政的な面も踏まえた検討をします。</p> <p>◆ 公共施設マネジメント幹事会議の開催 1月</p> <p>◆ 公共施設マネジメント本部会議の開催 2月</p> <p>◆ 公共施設マネジメント計画基本方針の作成 3月</p>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>公共施設マネジメント幹事会議や本部会議を開催し、建物施設およびインフラ施設の個別計画策定のスケジュール取りまとめるとともに、財政的な面も踏まえた建物施設の個別計画策定の市の基本的なマネジメント方針案を策定しました。</p> <p>◆ 公共施設マネジメント幹事会議の開催 2月[B]</p> <p>◆ 公共施設マネジメント本部会議の開催 3月[B]</p> <p>◆ 公共施設マネジメント計画基本方針の作成 3月[A]</p>
<p><b>11-1. 電子自治体を目指した情報化施策の推進</b></p> <p>ICT（情報通信技術）を活用したまちづくりと、市民の誰もがICTの恩恵を受けることができるような電子自治体を目指して、様々な情報化施策を推進します。また、タブレット端末等を使用したペーパーレス会議を推進します。</p> <p>◆ IT推進フォーラムの開催 130人</p> <p>◆ オープンデータプラットフォームでの新規公開 (H28年度末 公開数180件→200件) 20件</p> <p>◆ タブレット、アプリの使用方法やfacebookなどSNS講座の開催 20回 200人</p> <p>◆ 職員のfacebookアカウント登録数 280人</p> <p>◆ facebook“めがねのまちさばえ”の新規いいね数 (H28年度末 いいね数3,014人→3,214人) 200人</p> <p>◆ Ustream、Youtubeでの映像発信数 40回</p> <p>◆ さばレポアプリの新規ダウンロード数 (H28年度末 355件→405件) 50件</p> <p>◆ 電子申請の利用件数 9,200件</p>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>オープンデータのオープンデータプラットフォームでの公開を進め、Youtube等での映像発信を実施したほか、タブレット等に親しむ講習会を開催し、情報通信技術（ICT）を活用したまちづくりを推進するとともに、今年度で7回目となる“IT推進フォーラム”は、より多くの幅広い市民の方にITをより身近なものとして感じ取っていただくため、体験型のフェスティバルとして開催し、多くの方に参加いただきました。また、ペーパーレス会議を推進しました。</p> <p>◆ IT推進フォーラムの開催 350人[A]</p> <p>◆ オープンデータプラットフォームでの新規公開 (H28年度末 公開数180件→200件) 20件[A]</p> <p>◆ タブレット、アプリの使用方法やfacebookなどSNS講座の開催 28回 200人[A]</p> <p>◆ 職員のfacebookアカウント登録数 281人[A]</p> <p>◆ facebook“めがねのまちさばえ”の新規いいね数 (H28年度末 いいね数3,014人→3,174人) 160人[B]</p> <p>◆ Ustream、Youtubeでの映像発信数 90回[A]</p> <p>◆ さばレポアプリの新規ダウンロード数 (H28年度末 355件→551件) 196件[A]</p> <p>◆ 電子申請の利用件数 8,743件[A]</p>
<p><b>11-2. 情報システム調達ガイドラインの適正な運用と情報セキュリティ内部監査の実施</b></p> <p>各課の情報システムの導入や更新時に技術的な助言を行い、各業務の効率化とセキュリティ確保の支援を行います。また、マイナンバー制度運用に合わせて、技術的・物理的・人的セキュリティの強化を図ります。</p> <p>◆ 情報システム導入対応率 100%</p> <p>◆ 情報セキュリティ内部監査の実施 15件</p> <p>◆ 情報セキュリティ研修の実施 10月 (庁内ネットワーク利用者対象)</p>	<p><b>【成果等】 目標を概ね達成しました。</b></p> <p>各課が情報システムを導入する際に技術的な助言など支援を行いました。また、情報資産や情報システムについて内部監査を実施しました。新採用職員等へのセキュリティ研修のほか、全職員対象のセキュリティ研修を実施しました。</p> <p>◆ 情報システム導入対応率 100%[A]</p> <p>◆ 情報セキュリティ内部監査の実施 19件[A]</p> <p>◆ 情報セキュリティ研修の実施 1月[B] (庁内ネットワーク利用者対象)</p>

**12. 各種統計データの公開と統計調査体制の強化**

国・県・市の政策立案や施策の推進の元となる統計調査を実施し、鯖江市に關係する各種統計データを公開するとともに、鯖江市の統計調査体制の強化を推進します。

- ◆ 鯖江市統計書の作成 9月
- ◆ 登録調査員の充実 130人
- ◆ 鯖江市統計協会研修の実施 2月

**【成果等】 目標を達成しました。**

各種統計データをホームページで公開するとともに、調査員の確保や研修による調査能力の向上による統計調査の体制強化を図りました。また、広報さばえやホームページにより工業統計調査の周知と調査への協力を依頼し、円滑に調査が行われるよう努めました。

- ◆ 鯖江市統計書の作成 9月 [A]
- ◆ 登録調査員の充実 131人 [A]
- ◆ 鯖江市統計協会研修の実施 2月 [A]

**13-1. 税務広報の充実**

分かりやすい税情報の提供を行い、納税者の税知識の高揚に努めます。

- ◆ 市民税の公的年金特別徴収制度の周知
  - ・ 税通知書にチラシ同封 1回 (4,800人)
- ◆ 国保税の制度および次年度に予定している税率改正等の周知
  - ・ 納税通知書にチラシ同封 1回 (8,700世帯)
  - ・ 広報さばえ、ホームページ掲載 各1回
- ◆ 家屋評価調査時に固定資産税等説明チラシを配布・説明 全数 (350件)

**【成果等】 目標を達成しました。**

市民の皆さんに納税に対し理解していただくため、市税情報を分かりやすくお知らせしました。

- ◆ 市民税の公的年金特別徴収制度の周知
  - ・ 税通知書にチラシ同封 1回 (5,889人) [A]
- ◆ 国保税の制度および次年度に予定している税率改正等の周知
  - ・ 納税通知書にチラシ同封 1回 (8,489世帯) [A]
  - ・ 広報さばえ、ホームページ掲載 各1回 [A]
- ◆ 家屋評価調査時に固定資産税等説明チラシを配布・説明 全数 (357件) [A]

**13-2. 適正課税の推進**

税負担の公平を図るため、税務調査の実施により申告義務の的確な把握を行い、未申告者の解消に努めます。

- ◆ 市民税申告の勧奨 100%
- ◆ 償却資産新規未申告者への訪問調査率 100%

**【成果等】 目標を達成しました。**

税負担の公平性を図るため、税務調査により要申告義務者の的確な把握を行い、未申告者の解消に努めました。

- ◆ 市民税申告の勧奨 100% [A]
- ◆ 償却資産新規未申告者への訪問調査率 100% [A]

**14. 市税等の収納率向上**

電話による督促や夜間納税相談を実施するとともに、納税や上下水道料金等の口座振替やクレジットカードによる納付の利用促進を図ります。また、市税や次年度に税率改正を予定している国民健康保険税、上下水道料等の収納率の向上に努めます。

- ◆ 市税および使用料等の収納率（現年分）
  - ・ 市税 98.3%
  - ・ 国民健康保険税 95.0%
  - ・ 介護保険料普通徴収分 85.5%
  - ・ 上下水道料 97.0%
- ◆ 口座振替利用率
  - ・ 市税(軽自動車税を除く) 50.0%
- ◆ クレジットカードによる納付 1,000件

**【成果等】 目標を概ね達成しました。**

未納者への文書・電話による催告や毎週火曜日の夜間納税相談、5・8・9・12・2月の特別夜間納付相談などにより納税指導を行うとともに、滞納処分を強化し収納率の向上を図りました。コンビニ納税の増加や市県民税の年金特別徴収に多くの優良納税者が移行していくため、口座振替の利用率は伸び悩んでいますが、鯖江市納税貯蓄組合連合会と連携し市税等の口座振替を啓発しました。また、ペイジーやWebによる口座振替の推進に努めました。

- ◆ 市税および使用料等の収納率（現年分）
  - ・ 市税 98.3% [A]
  - ・ 国民健康保険税 94.5% [A]
  - ・ 介護保険料普通徴収分 85.5% [A]
  - ・ 上下水道料 97.0% [A]
- ◆ 口座振替利用率
  - ・ 市税(軽自動車税を除く) 41.5% [B]
- ◆ クレジットカードによる納付 2,800件 [A]